

時代	西 曆	年 号	歴 史 的 事 項
平安時代	934	承平4	和名称に陸奥国磐瀬郡郷名7つとして磐瀬、推会、広門、山田、白方、駅家、余戸とあり。
	1045～		第70代御冷泉天皇のとき源頼義、八幡太郎義家東征、頼朝は藤原泰衡を討って東北を制定し、白河、岩瀬を結城七郎頼光に与えた。
	1057	天喜5	源義家奥羽鎮撫のため下向して梅田八幡岳に陣したという。この時放った矢が矢沢村の八幡岳に着いた事から矢沢とまた義家が旗多く立てたので畑田の地名ができた。(矢沢神社縁起)
鎌倉時代	1142	康治元	矢沢白山大観現縁起
	1186	文治5	梅田荘白方郷は西袋村のうち越久、袋田、仁井田村、白方村、白江村のうち畑田、矢沢、深渡戸をいう。藤沼荘江原郷は長沼町のうち長沼、江花、勢至堂、志茂、白江村のうち北広(横の誤りか)田、大久保をいう。
	1264	弘長4	板碑記名 畑田長命寺境内、岩瀬中学校裏庭(昭42県文化財指定) (昭48村文化財指定)
	1294	正応5	板碑記名 上大久保2基 畑田長命寺1基(昭48村文化財指定) 守屋満願寺開山す。(守屋村誌)
南北朝時代	1335	建武2	北畠顕家は陸奥守鎮守將軍となる。
室町時代	1392	康応3	守屋西藏寺開山す。(守屋村誌)
	1497	明応6	足利満直稲村において当地方を治めた。
	1533	天文2	柱田神明神社大杉(昭47村文化財指定)
	1547	天文15	今泉永祿寺鱒口記銘(昭47村文化財指定)
安土桃山時代	1558	永祿元	須賀川二階堂輝行は今泉の館山に拠って今泉7郷を治めた。白岩城と名づく。
	1559	" 2	三春田村隆頭は白岩城を陥し弟月斎を城主とした。
	1565	" 7	今泉永祿寺建立す。(今泉村誌) このころ畑田隠れキリシタン墓できる。(推定)
	1580	天正8	白岩城を二階堂氏が奪回し浜尾善斎が城主となる。
		" 8	梅田村は若松城主芦名盛氏の領となる。
	1583	" 11	大久保矢部大夫資近の墓碑銘。
	1588	" 16	今泉新田毘沙門堂建立。(今泉村誌)
	1590	" 18	秀吉は会津4郡、中仙道7郡を蒲生氏郷に与えた。 氏郷は須賀川に蒲生郷成、長沼に蒲生郷可を配してこの地方を治めた。